

1-2. 共同研究

④グランドカバー・ガーデニングに関する調査研究

平成 28 年度、グランドカバー・ガーデニング共同研究会では、次の調査研究を行った。

1. 芝生緑化の調査研究及び普及

芝生部会において、「校庭芝生の安全管理技術の普及」に向けての検討を行った。父兄や地域ボランティアにより維持管理されている校庭の芝生の維持管理現場において発生している、ヒヤリハットの事例を収集するとともに、事故を未然に防ぎ、安全な校庭芝生の維持管理の推進に資する啓発ツール（パンフレット・ポスター）の開発研究を行った。

2. 地域性系統緑化の研究及び普及

地域性系統緑化の普及を目的とした「地域性種苗生産のてびき」の編纂を目指し、関連するデータの収集及び整理を行った。その一環として、都市部における地域性系統種苗の遺伝資源の提供元として「特別緑地保全地区」を想定、「狛江弁財天池特別緑地保全地区」において、種子・苗木の採取の可能性について調査し、管理を担うボランティア団体にヒアリングを実施した。

3. ガーデニング技術に関する調査研究及び普及

園芸文化の次世代への継承を目指し、子ども達を対象とした園芸活動の普及啓発活動の研究を行った。具体的な取り組みとして、「日本橋はな街道花壇コンテスト」を実施した。日本橋駅から京橋駅間の「中央通り（国道 4 号、15 号）」の沿道を、季節の花で彩る活動を、NPO はな街道が平成 18 年より実施している。ガーデニング部会では、NPO はな街道共催の形で、本年度、地域のふたつの小学校（城東小学校、常盤小学校）の子ども達を対象に「日本橋はな街道花壇コンテスト」を実施した。

コンテストは、2m×1mの花壇のデザインを、学校を通して子どもたちに作成してもらい、優れた作品について、子どもたちの参加のとも植え込み作業をし、デザイン案を実現しようとするものである。ガーデニング部会では、NPO はな街道及び学校との調整を重ね、城東小学校の 2・3・4・5 年生から 37 作品、常盤小学校 3・4 年生から 36 作品の応募を集め、選考作業を行い、各学校 2 作品、計 4 作品について花壇化を実現した。平成 27 年 12 月 8 日に、京橋 TODA ビルディング前の花壇において、城東小学校の子ども達とともに花苗の植え付け活動をおこない、記念のセレモニーを開催した。12 月 11 日には、日本橋三井タワー前花壇にて、常盤小学校の子ども達と同様の活動を予定していたが、生憎の荒天により子ども達の参加は叶わず、ガーデニング部会メンバーにより植え付け作業を行った。入賞者 4 名には、賞状と記念品（植物栽培キット）を贈呈し、

他のこども達には参加賞として種袋と肥料のセットを贈呈した。